

利根大堰からの取水量 1,000 億 m^3 に到達します

利根川の大切な水を首都圏の皆様へお届けしています

水資源機構が管理する利根大堰などの利根導水路施設は、東京都や埼玉県の都市化の進行による慢性的な水不足の解消、利根川から個別にそれぞれ取水されていた農業用水をひとつの取水口にまとめて安定取水できるようにするなど、多目的の取水導水施設として、昭和 38（1963）年に施設の建設に着手し、昭和 43（1968）年 4 月から管理を開始しました。

利根大堰からこれまで取水した水量は、本年 6 月下旬頃に 1,000 億 m^3 に到達する見込みとなりました。

利根導水路施設は、大規模地震対策の実施により、南関東で想定される直下型地震にも対応した強靱な施設となり、これからも首都圏の皆様の暮らしや地域の社会経済活動を支えるため、安定的に用水を届けてまいります。

なお、これを記念した限定カード（先着 1,000 名）を 8 月 1 日（木）から配布を開始します。ぜひ利根大堰に足を運んでいただき、毎日欠かすことができない大切な水をお届けする施設やその役割など、この機会に関心を寄せていただければ幸いです。

※1,000 億 m^3 到達に関する事項は、ホームページに掲載しますので、下記 QR コードをご確認ください。限定カード配布の詳細等についても随時情報を更新していきます。



令和 6 年 6 月 7 日

みずしげんきこう

独立行政法人 水資源機構

発表記者クラブ

農政クラブ、農林記者会、経済産業記者会、国土交通記者会、
刀水クラブ、埼玉県政記者クラブ、都庁記者クラブ、
水資源記者クラブ、竹芝記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 利根導水総合管理所
総務課長 菊地（きくち）

所在地：埼玉県行田市大字須加字船川 4 3 6 9
電 話：（048）557－1501



ホームページ

利根川の大切な水を取水する「利根大堰」

利根大堰は、昭和43（1968）年4月から管理を開始して以来、首都圏約1,670万人の暮らしや地域の社会経済活動を支えるため、利根川上流の水源施設（ダム）で貯えられた大切な水を安定的に届けています。

水道用水



工業用水



農業用水



利根大堰全景（下流側から望む）



利根大堰から取水した水は用水路を通じて各地区に届けます

利根大堰などの利根導水路の役割

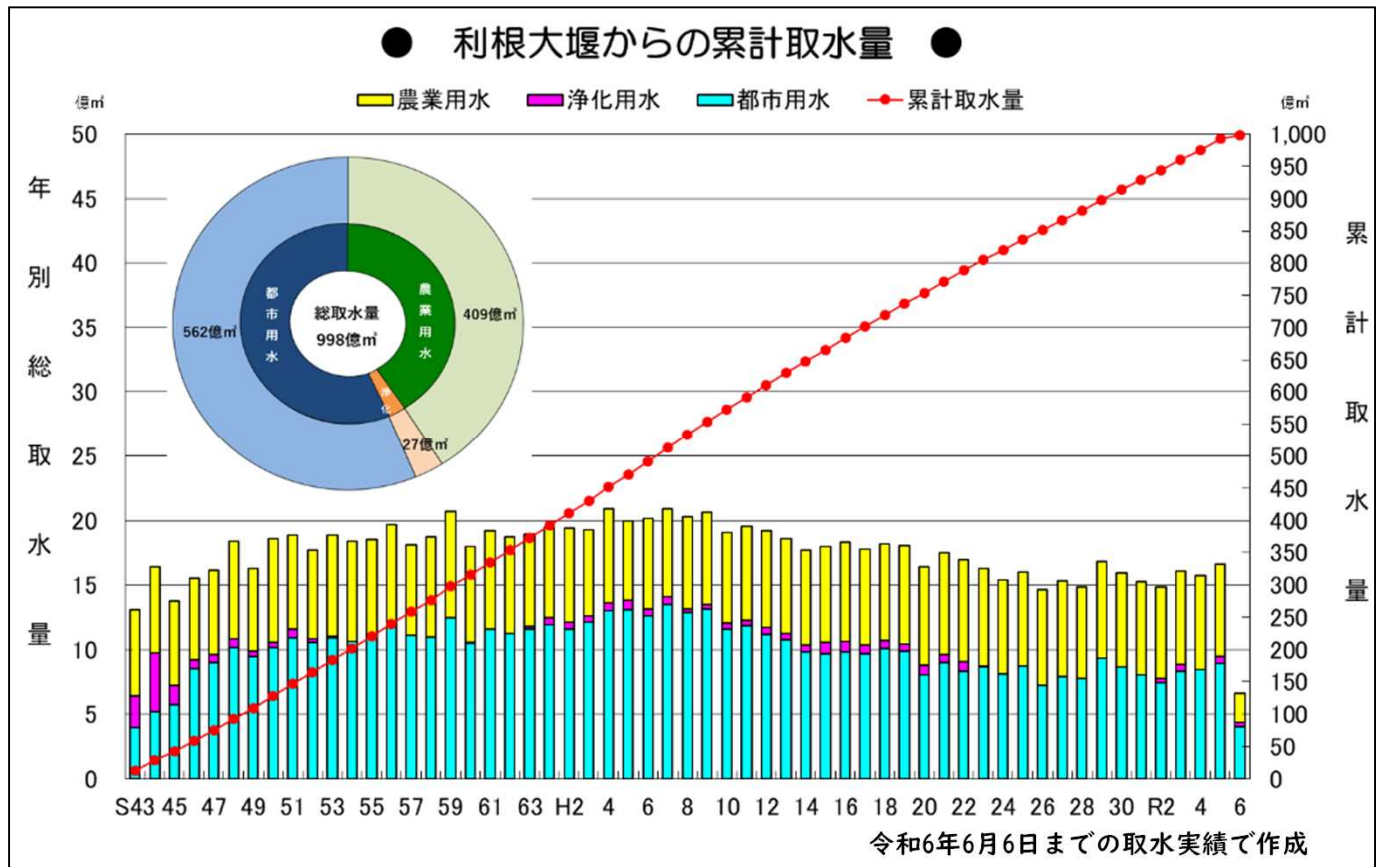
次の各用途に必要な用水を毎日取水し、用水路を通じて導水しています。

- 水道用水：供給エリアの人口 約1,670万人に供給
（東京都約1,040万人、埼玉県約590万人、群馬県約40万人）
- 工業用水：埼玉県内の約100事業所に供給
- 農業用水：農地面積約23,300ha（埼玉県・群馬県28市町）に供給
- 浄化用水：隅田川の水質改善のための用水を供給

また、武蔵水路は、大雨時に周辺（行田市、鴻巣市等）地区内の排水を水路に受入れ、地区内の雨水を荒川に排水し、浸水被害を防止・軽減します。

取水量1,000億 m^3 に到達「利根大堰」

利根大堰は、昭和43（1968）年4月から管理を開始して以来、これまでの取水量は、令和6年6月下旬頃1,000億 m^3 に到達する見込みとなりました。



1,000億 m^3 の水量とは？！

1,000億 m^3 は、日本一大きい琵琶湖の水量の約3.6個分に、国内の全てのダムの総貯水量の約5倍に相当します。



琵琶湖
約3.6個分



国内のダム総貯水量
の約5倍
(写真は矢木沢ダム)



東京ドーム
約8万個分

取水量1,000億 m^3 に至るまでのあゆみ

利根大堰は、昭和43（1968）年4月に管理を開始して以来、渇水や洪水、地震などの自然災害に見舞われながらも、用水を安定的にお届けできるよう必要な改築を重ねつつ、発展する首都圏の皆様の暮らしや地域の社会経済活動を支え続けてまいりました。

年次	取水量	事業のあゆみ	主な出来事
昭和43（1968）	—	利根導水路施設管理開始	矢木沢ダム（1967）完成 下久保ダム（1969）完成
昭和57（1982）	約260億 m^3	朝霞水路改築事業完了	東北・上越新幹線開業
平成3（1991）	約430億 m^3		奈良俣ダム完成 東京都庁新宿に移転
平成7（1995）	約510億 m^3	埼玉合口二期事業完了（3月）	全国的な渇水（1994）
平成10（1998）	約570億 m^3	利根大堰施設緊急改築事業完了（3月）	さいたま新都心街開き（2000） 国の省庁再編（2001） さいたま市政令指定都市（2003）
平成14（2002）	約650億 m^3	利根中央用水事業完了（3月）	
平成23（2011）	約800億 m^3		東日本大震災（3月11日）
平成28（2016）	約880億 m^3	武蔵水路改築事業完了（3月）	北陸新幹線金沢迄開業
令和元（2019）	約910億 m^3		台風19号（10月） 大堰地点既往最大流量
令和6（2024） 6月中旬頃	1,000億 m^3	利根導水路大規模地震対策事業完了（3月）	能登半島地震（1月1日）

安定的に用水をお届けするため改築を重ねてきた「利根導水路」



利根大堰施設緊急改築事業（平成4～9年度）
堰下流の護床工を改築



埼玉合口二期事業で改築された見沼代用水路



利根中央用水事業で改築された埼玉用水路



武蔵水路改築事業（平成4～27年度）
水路を二連化



利根中央用水事業で改築された葛西用水路



利根中央用水事業で改築された邑楽用水路

埼玉合口二期事業（昭和53～平成6年度）
利根中央用水事業（平成4～平成13年度）

利根導水路大規模地震対策事業

利根導水路施設は、平成26年度から令和5年度にかけて実施した大規模地震対策事業により、南関東で想定される直下型地震にも対応した強靱な施設となりました。

利根大堰



秋ヶ瀬取水堰



朝霞水路



末田須賀堰



利根導水路大規模地震対策事業完工式を挙行了しました



大規模地震対策事業の実施にあたり、ご理解ご協力を賜った国会議員、関係都県知事、議会議員のほか、関係機関の方々（参加者約110名）をお招きし、令和6年3月9日（土）行田市教育文化センターにて完工式を挙行了しました。